

社会学研究科修士課程 社会学専攻（2015年度以降 第1学年次入学者適用）

区分	科目名称	単位数	1) 知識			2) 研究技能			3) 独創性		4) 総合力		科目概要（2022年度シラバスより）	
			①社会学理論あるいはソシオロジカル・マネジメント理論を学修した上で、文化、社会情報、共生、臨床、環境、地域の領域のうち、いずれか一つの専門領域に関する高度な専門的知識を持っている	②専門領域以外で、近接する文化、社会情報、共生、臨床、環境、地域の各関連領域に関する高度な専門的知識を持っている	③専門領域に関連して様々な社会問題に関する学際的知識を持っている	④研究遂行の基礎となる文献を読解するための必要能力を備えている	⑤研究遂行に必要な資料収集・分析能力、データを正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付けるとともに、様々な社会問題に深く専門的・理論的に考察する能力を備えている	修士論文選択		課題研究選択		修士論文選択		課題研究選択
								①専門領域ならびに関連する関連領域の研究状況を正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付ける能力を備えている	②専門領域において、当該研究を明確な独立性あるいは独創的な研究方法に基づいて遂行し、その成果を課題研究としてまとめる能力を備えている	③専門領域ならびに関連する関連領域の研究状況を正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付けるとともに、様々な社会問題に深く専門的・理論的に考察する能力を備えている	④当該研究、専門領域だけでなく近接する関連領域の研究状況や研究成果と照らし合わせた上で独創的に遂行し、その成果を一定の水準に到達した独立した研究として修士論文にまとめる総合的な能力を備えている	⑤当該研究、専門領域だけでなく近接する関連領域や、学際的領域における立派な知識を応用して遂行し、様々な社会問題に適切な問題解決案を案出し、その成果を一定の水準に到達した内容をもち課題研究としてまとめる総合的な能力を備えている		
基礎科目	社会学理論研究	2	◎	△	○			○		○	○	○	社会学を研究する以上、いかなるテーマを扱う場合でも、社会学理論は不可欠である。本授業では、履修者同士の議論や研究テーマ報告を交えつつ、社会学理論の射程と課題を考える。その際、(1)社会学理論における主体化と社会の関係、(2)種々の「差異」をめぐる差別・不平等への批判的視座を重視する。具体的な進め方は、履修者の関心等によって調整するが、主として、ギデンズ、ブルデュー、フーコーの理論/思想を検討する予定である。	
	ソーシャルマネジメント理論研究	2	◎	△	○			○		○	○	○	多くの都市では、自然環境が地域社会を取り巻き相互に影響を及ぼしあっている。人間は都市に居住する一方で自然を求め、講義では、都市の居住環境に焦点をあて、ランドスケープを構成する緑という環境要素に着目する。講義は、居住環境の変化に対し住民の認識や行動はどのように作用するのかを学び、居住環境における緑の需要や効果を知る。ランドスケープ研究の発展の経緯、庭園や公園の成り立ちから人と環境の関係を考える。ランドスケープデザインの基本と人々の環境心理について考え、人々が環境形成に参加することによって、どのように地域の環境ははぐくみ、知識を共有し継承していくかを考える。	
専攻科目	社会学特殊研究1（社会文化）	2	◎	△	◎	◎					△	△	2017年にノーベル平和賞を受賞したICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の活動、2021年1月22日に発行された核兵器禁止条約（日本は不参加）など、現在、地球規模で平和の問題が注目されている。本講義では、現代世界における戦争と平和の問題を念頭に置きつつ、戦後日本の宗教者平和運動について検討する。 戦後の日本社会では宗教は個人の内面や心の問題であり、日本国憲法の政教分離の原則により、宗教団体は政治や社会に関与することができない、という「常識」がある。この授業ではそうした「常識」を乗り越え、戦後日本の公共空間における宗教者平和運動の役割と機能について捉え直してみたい。 『仏教界と平和運動』『キリスト教と平和運動』『新宗教と平和運動』『国境を超える平和活動』について執筆された論文を輪読することを通じて、宗教者の社会参加や政治参加、ポスト世俗化と宗教、公共空間と宗教、「平和と宗教」といった問題系について、受講者とともに議論したいと思う。※2021年度シラバス	
	社会学特殊研究2（社会文化）	2	◎	△	◎	◎					△	△	20世紀の人類学は、フィールドワークを手法として確立した1922年のマリノフスキーの著作『西太平洋の南洋航海者』から始まり、レヴィーストロースの構造主義を通過し、『文化を書く』などの1980年代の文化人類学批判を経て、1990年代以降に新たな展開を遂げました。この授業では、文化人類学とはどのような学問か、フィールドワークとはどのような手法かを議論しながら、この学術的な流れを学ぶことを目指します。その中で、映像人類学の作品など、映像や写真も用いています。とくにこの授業では、このような流れの中で世界的におきな注目を集め、頻りに引用されてきたイギリス出身の人類学者であるティム・インゴルドの議論を取り上げます。インゴルドの著作は、『ライオンズ線の文化史』（2014 [2007]）、『メイキング・人類学・考古学・芸術・建築』（2017 [2013]）、『ライフ・オブ・ライオンズ線の生態人類学』（2018 [2015]）、『人類学とは何か』（2020 [2018]）など、多くが日本語に翻訳されています。この授業ではその中でも、『人類学とは何か』と『ライオンズ線の文化史』の二冊を中心に取り上げ、『人々とともにする哲学としての人類学』、『ライオンとは何か』、『歩行』と『組み立て』の区別、『徒歩旅行』と『輸送』の違いなど、インゴルドの基本的な主張を理解し、最新の人類学の議論の方向性を学びます。	
	社会学特殊研究3（社会情報）	2	◎	△	◎	◎					△	△	1.東アジアの歴史的文脈のなかから日本のメディア文化を検討する。 2.様々なメディアとその文化の連続性と断絶に関する歴史的事象を考える。 3.メディアテクノロジーの進歩によるメディア文化の変遷に注目する。 4.グローバル化やネットワーク化、デジタル化をめぐるメディア文化の混交や変容を考察する。 ※2021年度シラバス	
	社会学特殊研究4（社会情報）	2	◎	△	◎	◎					△	△	メディア文化や現代文化を主題とした論文や著書を講読していくことで、最新の理論、研究の方法、テーマ設定等について議論する。研究方法が必ずしも確立されているとは言えない、インターネットやSNSなどのメディア/コンテンツにかかわる研究も視野に入れながら、テーマの妥当性や分析手法、理論枠組みや解釈等について、実際の研究事例をもとに検討する。	
	社会学特殊研究5（共生臨床）	2	◎	△	◎	◎					△	△	・講義 15回 ・臨床社会学という視点から、社会で「問題」とされている現象について、理解を深める。 ※2021年度シラバス	
	社会学特殊研究6（共生臨床）	2	◎	△	◎	◎					△	△	現代社会の様々な差別や偏見の問題に対する共生の理論について解説し、共生理論の射程と限界について検討を加えます。	
ソシオロジカル・マネジメント系	ソーシャルマネジメント特殊研究1（環境）	2	◎	△	◎	◎					△	△	近代社会の発展と生活の向上の一方で、高度経済成長期における四大公害など激しい事件が引き起こされてきた。地域住民の健康と生活を奪い、数多くの犠牲者を生み、コミュニティを崩壊させ、その多面への深刻な影響は今も克服されたとはいえないままに、また、教訓が生かされないままに、過去のこととして忘れ去られかねない状況にある。本授業においては、公害問題の歴史と記憶を伝え、教訓を生かすことについて考える。そのために、四大公害を中心として複数の関連文献を講読しようえ、現状について調べる。また、実際に現地を訪問して教訓をどのように伝えようとしているかを体験する。現地訪問先については、授業の中で調整する予定である。	
	ソーシャルマネジメント特殊研究2（環境）	2	◎	△	◎	◎					△	△	授業では、景観の理論に基づいた測定方法や分析・評価を踏まえ、大学キャンパス内や近隣の庭園、公園、緑地、街路、などを対象に景観を構成する要素を把握する。地理的条件や社会的要因との関係を考え、よりよい景観づくりについて議論する。 ※2021年度シラバス	
	ソーシャルマネジメント特殊研究3（環境）	2	◎	△	◎	◎					△	△	エネルギー政策を考える上で、個別エネルギーの特徴を知り、地域の現状を知ることは必要不可欠である。そこで「エネルギーの地産地消」をキーワードとし、地域におけるエネルギー政策を検討する。授業では具体的なエネルギーを取り上げ、その応用について議論する。	
	ソーシャルマネジメント特殊研究4（地域）	2	◎	△	◎	◎					△	△	グローバル資本主義の展開は、現代社会に大きな歪みをもたらしているが、それが従来型の資本主義とはどう異なるのかは、必ずしも明確に認識されているとは言えない。また、このグローバル資本主義にたいしてどのような対抗軸を構築しようのかも、まだ明確になっていない。 一方で、社会科学は、かつて国家の侍従として位置づけられており、それは国家の立案のための手段のひとつであった。しかしその後、社会科学の独立化がすすみ、社会科学は、むしろ現代社会と現代国家の問題性を解明する方向へとすすんできた。 この授業では、グローバル化とは何か、社会科学はグローバル資本主義と現代国家にたいしてどのようなスタンスに立つのか、社会科学は地方自治・地域社会をどのように位置づけ、どのようにそれを活性化させようとするのかをテーマとする。 ※2021年度シラバス	
	ソーシャルマネジメント特殊研究5（地域）	2	◎	△	◎	◎					△	△	先進国では政府・公共部門における改革（行政改革）が継続的に行われている。行政の見直し求められる背景には、社会・経済情勢の変化、深刻化する財政危機、政府に対する信頼性の低下などが指摘される。この授業では、行政改革の理論的な背景、具体的な行政改革の取組み、今後の課題と方向性などを検討していく。	
	ソーシャルマネジメント特殊研究6（地域）	2	◎	△	◎	◎					△	△	ヴィクター・W・ターナーの『儀礼の構造』（ちくま学芸文庫、2018年）が復刊された。象徴人類学の古典である。原著の刊行は1969年であり、半世紀以上に発表された作品だが、今でも読むに値する名著である。 本講義では、このテキストを精読する。本書を通じて、現代社会における儀礼の意味や構造、社会と文化、構造と反構造、コムニクス、構造主義や象徴主義の問題などを検討する。 ※2021年度シラバス	

区分	科目名称	単位数	1) 知識			2) 研究技能			3) 獨創性			4) 総合力			科目概要 (2022年度シラバスより)	
			①社会科学理論あるいはソーシャル・マネジメント理論を学修した上で、文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の領域のうち、いずれか一つの専門領域に関する高度な専門的知識を持っている	②専門領域以外で、近接する文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の各関連領域に関する高度な専門的知識を持っている	③専門領域に関連して様々な社会問題に関わる学際的知識を持っている	④研究遂行の基礎となる文献を読解するための必要な能力を備えている	⑤研究遂行に必要な資料収集・分析能力、および研究成果を整理・発信する能力を備えている	⑥専門領域ならびに関連する関連領域の研究状況を正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付けるとともに、様々な社会問題に適切な問題解決案を案出する能力を備えている	修士論文選択		課題研究選択		修士論文選択			
									⑦専門領域において、当該研究を明確な独自性あるいは独創的な研究状況に基づいて遂行し、その成果を位置づける能力を備えている	⑧専門領域ならびに関連する関連領域の研究状況を正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付けるとともに、様々な社会問題に適切な問題解決案を案出する能力を備えている	⑨当該研究を、専門領域だけでなく近接する関連領域の研究状況や研究成果と照らし合わせた上で独創的に遂行し、その成果を一定の水準に到達した独立した研究として修士論文にまとめる総合的な能力を備えている	⑩当該研究を、専門領域だけでなく近接する関連領域や、学際的領域における広範な知識を応用して遂行し、様々な社会問題に適切な問題解決案を案出し、その成果を一定の水準に到達した内容をまとめて課題研究としてまとめる総合的な能力を備えている				
専攻科目	社会学系	社会学演習1 (社会文化)	2	○	△	◎	○	◎					△	△	メディアのデジタル化ならびにグローバル化は、経済、社会生活、文化、価値観、そしてコミュニケーションのあり方に大きな変化をもたらしてきた。例えば、日本には海外から多種多様な映画やテレビ番組などコンテンツが流入し、一方で近年「クールジャパン」と称されるように、日本のコンテンツも海外諸国で広く愛されている。これらコンテンツを、利益を追求する商業主義的産業と文化創造の担い手という、時として対立する2つの側面から考察することは重要である。講義では、テレビ番組の海外展開を取り上げ、コンテンツの価値を最大化するビジネススキームを考察・理解するとともに、そこでの課題について整理し、今後の方向性を議論・検討してゆく。講義はセミナー形式とし、受講者の主体的な議論参加を促す。 ※2021年度シラバス	
		社会学演習2 (社会情報)	2	○	△	◎	○	◎					△	△	メディアのデジタル化ならびにグローバル化は、経済、社会生活、文化、価値観、そしてコミュニケーションのあり方に大きな変化をもたらしてきた。例えば、日本には海外から多種多様な映画やテレビ番組などコンテンツが流入し、一方で近年「クールジャパン」と称されるように、日本のコンテンツも海外諸国で広く愛されている。これらコンテンツを、利益を追求する商業主義的産業と文化創造の担い手という、時として対立する2つの側面から考察することは重要である。講義では、テレビ番組の海外展開を取り上げ、コンテンツの価値を最大化するビジネススキームを考察・理解するとともに、そこでの課題について整理し、今後の方向性を議論・検討してゆく。講義はセミナー形式とし、受講者の主体的な議論参加を促す。 ※2021年度シラバス	
		社会学演習3 (共生臨床)	2	○	△	◎	◎	◎					△	△	ジェンダーを視点として持つ論文を読み、ジェンダーの視点から自分の興味があるトピックについて考察できることを目的とする。取り上げるトピックは、女性の労働参加・労働と歴史や国家との関連、家族と不平等、労働とジェンダー、人種とインターセクショナルリティなどである。さまざまな文献を読み、批判的に引用できるようになることも目的の一つである。	
		社会学演習4 (社会理論)	2	○	△	◎	◎	◎					△	△	Globalizing Critical Theory, edited by Max Pensky, Rowman & Littlefield Publishers, INC., 2005 のIntroductionであるGlobalizing Theory, Theorizing Globalization (理論をグローバル化する、グローバル化を理論化する)を読む。	
	ソーシャルマネジメント系	ソーシャルマネジメント演習1 (環境)	2	○	△	◎	○	◎					△	△	有限資源の持続的利用のための社会の未来像についての文献をひも解く。また具体的な材料をテーマにその応用についても議論する。英語文献である「Sustainable Resource Management」を題材に、抜粋部分の読み解き、ならびに関連事項からの発展課題を扱う。 また公共政策学部のディプロマポリシー1「社会、特に地域社会の課題に取り組むために必要な、関連する諸科学に関する基本的な学力を備えている」と3「自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を有している」を身につけるため、知識の整理と議論を通じた合意形成の重要性を説く。 ※2021年度シラバス	
		ソーシャルマネジメント演習2 (環境)	2	○	△	◎	○	◎					△	△	地域には継承されるべき様々な資産、記憶がある。例えば、地域が有する歴史文化や自然などのさまざまな資源は尊重され適切に保全継承される必要があり、また、地域の先人による工夫や生活の知恵や楽しい思い出の記憶、さらに、災害・公害・戦争など負の出来事の記憶についても継承され教訓が生かされる必要がある。都市や地域を構成する都市施設には、それぞれが設置されるに至った本来の機能に加えて、地域の共有財産としてより幅広い役割に及び機能が、人々にさまざまなことを伝えている。この授業では、公園、駅、橋、浄水場、ごみ処理施設をはじめとする都市施設を取り上げ、その多義性と地域の記憶の継承に関する現状を探り、あり方を考える。	
		ソーシャルマネジメント演習3 (地域)	2	○	△	◎	○	◎					△	△	本授業は、京都市左京区大原でフィールドワークを実施する。当地で農産物等の直接販売を手がける「里の駅大原」を訪れ、出荷会員、地域住民、消費者、運営者を対象として、組織運営の現状と課題、今後の可能性などをヒアリングする。生産者の出荷会員登録による地域社会・地域農業の変化、里の駅大原の開設による住民生活の利便性の向上、都市農業の可能性などを理解し、地域社会の産業構造と働き方の変化を、生産者と住民、消費者の視点で学修する。 ※2021年度シラバス	
		ソーシャルマネジメント演習4 (地域)	2	○	△	◎	○	◎					△	△	世界の大企業は多くは多国籍企業である。国民国内で企業活動が限られていたら、企業が支払うべき法人税は、当該国家が徴収すれば問題はなかった。しかし、多国籍企業であれば、徴収される法人税は複数の国家にまたがる。また、国家によって法人税率も異なるから、多国籍企業はその違いを利用して、本来支払うべき法人税を節約したり、支払わないで済む方策を求めている。今日の税制には、このような問題が存在する。それに対抗するのが、グローバル・タックスの構想と実践である。授業では、これらの問題や課題を最新の研究に基づいて、理解する。	
	研究指導科目	社会学系	社会学研究指導演習1	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	研究テーマの決定とその研究方法の考察
			社会学研究指導演習2	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	研究テーマの決定とその研究方法の考察 (2)
社会学研究指導演習3			1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	問題意識の整理と研究方法の明確化	
社会学研究指導演習4			1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	研究テーマの決定とその研究方法の考察	
ソーシャルマネジメント系		ソーシャルマネジメント研究指導演習1	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	研究テーマの決定とその研究方法の考察	
		ソーシャルマネジメント研究指導演習2	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	研究テーマの決定とその研究方法の考察 (2)	
		ソーシャルマネジメント研究指導演習3	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	問題意識の整理と研究方法の明確化	
		ソーシャルマネジメント研究指導演習4	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	研究テーマの決定とその研究方法の考察 (2)	

区分	科目名称	単位数	1) 知識		2) 研究技能		3) 獨創性		4) 総合力		科目概要 (2022年度シラバスより)			
			①社会科学理論あるいはソーシャル・マネジメント理論を学修した上で、文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の各関連領域に関する高度な専門的知識を持っている	②専門領域に関連して様々な社会問題に関わる学際的知識を持っている	①研究進行の基礎となる文献を読解するための必要な能力を備えている	②研究進行に必要な資料収集・分析能力、および研究成果を整理・発信する能力を備えている	修士論文選択		課題研究選択			修士論文選択	課題研究選択	
							③専門領域ならびに関連する関連領域の研究状況を正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付けるとともに、様々な社会問題に深く専門的・理論的に考察する能力を備えている	④専門領域において、当該研究を明確な独自性ある独自の研究手法に基づいて実行し、その成果を位置づける能力を備えている	⑤専門領域ならびに関連する関連領域の研究状況を正しく把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置付けるとともに、様々な社会問題に深く専門的・理論的に考察する能力を備えている	⑥専門領域において、当該研究を明確な独自性ある独自の研究手法に基づいて実行し、その成果を一定の水準に到達した独立した研究として修士論文にまとめる総合的な能力を備えている		⑦当該研究を、専門領域だけでなく近接する関連領域の研究状況や研究成果と照らし合わせた上で独自の視点から課題を抽出し、その成果を一定の水準に到達した内容をまとめる総合的な能力を備えている	⑧当該研究を、専門領域だけでなく近接する関連領域や、学際的領域における立派な知識を応用して実行し、様々な社会問題に適切な問題解決案を提出し、その成果を一定の水準に到達した内容をもって課題研究としてまとめる総合的な能力を備えている	
関連科目	社会調査論	2		○		◎	○		○		△	△	社会調査は、人びとのもつ情報を引き出し、現実の行動や生活の資料の源泉としての材料を集め、複雑で錯綜した社会現象にかんする知識への貢献をはかりとする科学的探求活動であり、社会学においては極めて重要視されている。そのため、世の中にはこうした社会調査に関する教科書が無数に存在する。これらの中から一長一短があり、読者との間に相性も存在する。そこで幾つかの教科書を読み比べることで、社会調査に関する様々な解説に接し、社会調査の理解を深める。	
	社会調査演習1	2		○		◎	○		○		△	△	様々な質的調査法を「データの収集と分析」という観点から説明し、質的調査の概観を理解させる。その上で、授業内に実践可能な調査法を選択し、データの収集から分析までのサイクルを経験させ、実践的な能力の修得を目指す。	
	社会調査演習2	2		○		◎	○		○		△	△	社会学で参照される学会誌・紀要から社会調査を方法論として採用している論文を選び精読する。その際、最新の理論、研究の方法、テーマ設定等について議論する。	
	社会調査演習3	2		○		◎	○		○		△	△	統計学の基礎を確認した上で、多変量解析の意義を理解し、目的に応じた分析法を習得することがこの授業の目的である。またそれぞれの分析法を、逐次、統計ソフトで実践させ、その使用方法にも習熟させる。	
	地域公共政策論	2		○	○	◎	○				○	○	行政に限らない、様々な立場からの政策提案が求められる現代において、問題解決に資するだけでなく、幅広く合意を得ることのできる政策立案の手法を学ぶ。単に自らが正しいと考えるだけでなく、客観的に見ても問題解決が期待できる、また多くの賛同者を得ることのできる政策はどのようなデザインすることができるのかを考える	
	地域公共政策演習1	2			○	○	○					△	△	自治体は教育、福祉、公共資本の整備など私たちの日常生活に関わりの深い政策分野の多くを担っている。この授業では、地方自治の重要性と歴史的な経緯を学び、そのうえで自治体の統治構造と財政システムに対する理解を深めていく。さらに、近年における自治体行政改革の取組みを検討するとともに、行政と地域社会との連携のあり方や地方自治制度の課題と今後の展開の方向性について学習する。
	地域公共政策演習2	2			○	○	○					△	△	産業観光とは、歴史的・文化的に価値ある工場や機械などの文化財や製品を通じて、ものづくりの心にふれることを目的とした観光を指す。本授業は、佛教大学近辺の産業観光施設として、京都鉄道博物館（京都市）およびバナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館（門真市）を訪れ、商品開発や産業観光の発展などについてヒアリングする。製造工程の機械化と分業の徹底で大量生産が可能となったが、組織や勤労者の日常はどのようなものか。現在における産業社会を現場で理解するとともに、産業観光の可能性を考察する。
地域公共政策演習3	2			○	○	○					△	△	この授業では、テキスト学習によって、中山間地域にかかわる諸問題・諸課題を整理する。また、南丹市美山におけるフィールドワーク、またはそれに代わるヒアリング等を実施し、中山間地域における地域振興の取り組みについて、聞き取り調査を行う。ここでは、地域資源の活用、都市・農村交流の推進、地域における人材の育成、地域社会の持続的活性化の方策などがテーマとなる。そして、テキスト学習とフィールドワークを関連づけ、ディスカッションを実施することによって、中山間地域における有効な取り組みのありかたを探究する。	